

ワールドワイドな視点で未来を拓く

飛躍を目指し、世界へ発信する国際交流

APRU Multi-Hazards Programの展開

2012年9月20日～22日の3日間、東北大学(世話部局:災害科学国際研究所)の主催で、「災害に強い社会に向けた、巨大自然災害のリスク低減における大学の役割」をテーマに、第8回APRU自然災害リサーチシンポジウムを開催した。

このシンポジウムを契機に、APRUでは災害科学分野における環太平洋ネットワークの強化について議論が活発化し、本学は、2013年4月1日から3年間、APRU Multi-Hazards Programのハブ機能を担うこととなった。本学は、この分野を国際的にリードし、APRU加盟大学の研究者や学生に対して、トレーニングプログラム、サマースクール、ワークショップなどの様々なプログラムを提供し、APRUネットワークを通じて更なる国際貢献を目指すものである。本プログラムによる事業として2013年7月23日～25日に、第1回サマースクールを実施した。



APRU 第8回自然災害リサーチシンポジウム

APRU (環太平洋大学協会: Association of Pacific Rim Universities)

環太平洋圏の主要大学間の相互交流を深めることにより、環太平洋地域社会にとって重要な諸問題に教育・研究の分野から協力・貢献することを目的として1997年に設立。環太平洋地域の16ヶ国・地域の42大学により構成。



AEARU 第32回理事会

AEARU第32回理事会を開催

東北大学は、2012年1月からAEARU理事を務めており、2013年5月10日～11日の2日間、本学がホスト機関となり、AEARU第32回理事会(参加大学:国立清華大学、南京大学、香港科技大学、大阪大学、北京大学、ソウル大学校、東北大学)を仙台で開催した。会議では、AEARUの独自性や地域性を発揮する新たな共同研究・教育の在り方・活動方針、活性化への具体的取組等について活発な意見交換が行われた。なお、今回は2013年の12月、国立清華大学(台湾)において開催される。

AEARU (東アジア研究型大学協会: The Association of East Asian Research Universities)

東アジアにおける有力な研究指向型の大学学長間の交流の場を持つこと、教員・学生の交流など加盟大学間の密接な交流を行うことを目的として、1996年に設立。東アジア地域の4ヶ国・地域(日本・中国・韓国・台湾)の17大学により構成。

国際シンポジウム・ワークショップ開催

AIMR(原子分子材料科学高等研究機構)は、2013年2月19日～21日に仙台国際センターにおいて国際シンポジウムを開催した。根岸英一ノーベル賞受賞者をはじめ招待講演者及びAIMRの研究者32名が講演を行った。アメリカ、中国、イギリス等14ヶ国から240名の参加者が集い、各講演後、活発な意見交換が行われた。今回のシンポジウムでは「Challenge for green materials innovation through the fusion of materials science and mathematics」のテーマのもと、多くの数学者の参加を得て、AIMRが展開している数学と材料科学との融合についても活発に議論された。

また、電気通信研究所はアメリカ・ハーバード大学と共同で、2013年1月15日～16日「Tohoku-Harvard Joint Workshop: New Directions in Materials for Nanoelectronics, Spintronics and Photonics」を開催し、両大学の研究者による成果発表、電気通信研究所とAIMRのラボツアーを行った。本学及びハーバード大学は学術交流協定を締結しており、更なる交流、共同研究を推進することとしている。



AIMR International Symposium 2013 (AMIS2013) 参加者



Tohoku-Harvard Joint Workshop 参加者

グローバル展開するセミナー・フォーラム

2012年9月3日、台湾・台北市で開催された「2012台日科学技術フォーラム」に里見進総長が招待され基調講演を行った。本フォーラムは、「東日本大震災後の日本再生と台日連携」をテーマに、台湾と日本の科学技術関連分野のトップリーダーが、専門知識や行政、政策経験などを共有し、先駆的な研究や科学技術戦略の構想を練り上げることを目的として実施され、400名に及ぶ参加者があった。里見進総長は、「東北大学と東日本大震災、我々の役割と責任、そして使命」というタイトルで講演し、好評を得た。引き続き、「日本産業復興計画、エネルギー政策の行方及び台日連携」のテーマでパネルディスカッションに参加した。

また、2012年12月10日に、「第1回日露医学フォーラム」が東北大学とモスクワ大学の共催で、モスクワにおいて開催された。フォーラムでは、里見総長とサドヴィニチ学長の間で共同声明に署名が行われ、今後の医学分野における共同研究の推進と2014年に第2回日露医学フォーラムを仙台で開催することを確認した。



2012台日科学技術フォーラムにて基調講演を行う里見総長



第1回日露医学フォーラムで挨拶する里見総長

「グローバル人材育成推進事業」等による教育の国際化の推進

東北大学では、平成24年度に文部科学省「グローバル人材育成推進事業」に採択されたことを受け、グローバルリーディングセンターを設置し、国際的な産業競争力の向上や国と国の絆の強化の基盤として、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる「人材」の育成に取り組んでいる。主に「東北大学グローバルリーダー育成プログラム(Tohoku University Global Leadership program:TGLプログラム)」を開発し、学生を海外に派遣することとしている。

また、この一環で平成25年2月に大学間協定校であるカリフォルニア大学リバーサイド校エクステンションセンター内に「東北大学センター」を設置し、同校と連携しながら「ショートビジットプログラム」を展開するなど、留学・教育環境の一層の充実に取り組んでいる。

このほか、海外からの優秀な留学生の受け入れ拡充のため、文部科学省「国際化拠点整備事業(大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業)」の補助を受け「大学国際化推進プログラム(Future Global Leadership program:FGLプログラム)」として16の英語コースを開設している。海外においても、本学主催による「日露大学合同説明会」をロシアのノボシビルスク、モスクワ、ウラジオストクの3都市で開催したほか、各国で開催される留学説明会への参加や現地の高校訪問などにより、本学の教育・研究活動や入試に関する情報を提供し、優れた留学生や研究者の受け入れ促進を行っている。



東北大学センター開所式



TGLプログラム(スタディアブロードプログラム)